

V.G 概論だより

会報 第93号
発行日 平成24年7月1日
発行・編集 V・G 概論
代表者 大岡成一
http://web1.ibj.co.jp/~kirin

わがまち紹介 日本食に欠かせない豆腐と蒟蒻を知ろう、旧田中村(茨木市)

平成24年6月21日

(木曜日) 雨

茨木市田中町伏見屋の駐車場集合

① 当日は、雨で旧田中村の散策を中止しました。
② 伏見屋の工場見学。
③ 工場の案内は、伏見屋の島倉厚子さんが丁寧に下さいました。

現在の茨木市田中町は住宅地になっていますが、明治時代は茨木北市場といわれ、食品、衣料、雑貨などいろいろな商品の卸売や小売店舗、旅館や料理屋などが林立する商業集積地として活況を呈していた地域です。

田中村の中央を通る旧街道とJR京都線の交差に煉瓦作りのガードがあります。明治時代初期、京都と大阪間に鉄道が開通した時にできたもので、「田中の丸また」と呼ばれています。このガードの際に伏見屋の工場があります。

天満宮の周辺は、昔の町並みと面影を残しているが、鉄筋中層マンションなどもあり、そのアンバランスが面白い。田中町を北進していくと、茨木川の堤に突き当たる。上った所に安威川・茨木川合流地点の石碑があります。田中村には天満宮と寺院光徳寺が存し、一ヶ村、一宮・一寺の慣例に従った村の構成で現在に至っている。

並みの面影を残しているが、鉄筋中層マンションなどもあり、そのアンバランスが面白い。田中町を北進していくと、茨木川の堤に突き当たる。上った所に安威川・茨木川合流地点の石碑があります。田中村には天満宮と寺院光徳寺が存し、一ヶ村、一宮・一寺の慣例に従った村の構成で現在に至っている。

昌泰4年(九〇一年)1月25日、菅原時平の謀略により九州大宰府に左遷され、都落ちした菅原道真がその途中、宿泊した跡に現天満宮が建てられたと伝わる。

菅原道真が都を離れるときに詠んだ和歌『東風(こち)吹かば句(にほひ)おこせよ梅の花 主(あるじ)なしとて春(な)わすれそ』は今も人々の心に残る。

天満宮

来社は春日神社です。一の鳥居から石畳の長い参道の両側には梅の古木の並木があり、雪洞のマーク

も梅模様がついて、社内の敷地もまずまずの広さで、入り口には大きな古木の桜が有りま

す。(4月の下旬にはきれいな桜が咲きます)一の鳥居と常夜燈は立派で明治時代に建立されたと記

している。本殿の前には1対の石の狛犬が

あり。菅原道真は、承和12年(八四五年)乙丑(きのとうし)の歳に、生まれ

たこと、大宰府で没後その遺骸は都府樓の北東

(うしろ)の方向へ向かって進み、牛車の止まったところに葬られた。(太宰府天満宮の始まり)また、天神信仰が初め農耕神として発展したことや、当時牛が農耕のシンボルの存在だったことも大きく関係している。自分の身体と同じ神牛の部分を祈念を込めて、撫

でさえれば身体健全はもとより病氣全快するといわれ、また神牛の頭部を同じように撫でさえすれば、知恵が付くという信仰がある。



伏見屋

伏見屋のはじまりは、古く江戸時代までさかのぼります。京都の伏見から来た、屋号を「伏見屋」と名乗る「こんにやく屋」が、高槻市富田町にある本照寺の門前で商いを始めたことがはじまりです。その後、伏見屋は明治24年に本照寺の門前から茨木市田中町に移り現在に至っています。茨木に移って来た時の当主、上田鹿之助元吉の代から現在まで5代に亘り、こんにやく、豆腐づくりに専念してこられました。豆

腐工場の周辺は、今は緑地帯となっていますが茨木川(二元)の一番上流に当り、ゆたかな伏流水に恵まれた場所で、昔は染物屋や造り酒屋など、きれいな水を多く必要とするお店が軒を並べていました。浅井戸からは、今も当時のままのおいしい水が湧き出ています。現

在では、さらに水質の良い地下85mからくみ上げた水で豆腐を作っておられます。こんにやくや豆腐は他の食品のように明らかな味の違いがわかりにくい食材です。歯ざわり、風味、香りなど個々に見るとそれぞれ違いはあるのですが、それはわずかな違いでしかありません。そのわずかな違いを求めて、厳選国産大豆(佐賀県・滋賀県・石川県・厳選国産こんにやく芋など材料にこだわり、水にこだわり、品質管理にこだわり、「伏見屋の商品はちよつと違うね」の一言に向け、様々な試行錯誤を繰り返して来られたとのこと。伏見屋の百十余年は、この「わずかな違い」を求めての百十余年であつたとのこと。



見学後の試食

S・O

2012年7月度行事予定

“原の新鮮な鯉料理を食べて 節電のこの夏を乗りきろう”:原(高槻市)
月 日: 2012年7月18日(第3水曜日)
集合場所: 高槻西武百貨店 西側 近畿大阪銀行前 10:50
(バス: 11:00 出発)
順 路: JR高槻駅→バス→原養魚場→バス JR高槻駅
(途中浦堂バス停経由で行きます)
その他: 1) 原養魚場で昼食にします。会費: 3,000円/人
(ご主人自慢の鯉料理(芥川コース)を予定しています)
(予約を要しますので大岡まで申し込んで下さい)

2012年8月度行事予定

“京都に水族館・日本初の内陸型大規模水族館”:京都市梅小路
月 日: 2012年8月9日(第2木曜日)
集合場所: 阪急桂駅 改札出口 8:50
(桂駅東口案内所 9:00 バス 9:06 発
現地集合 水族館前 9:30 (入場券は各自で購入下さい))
順 路: 阪急桂駅→バス→京都水族館→バス→阪急桂駅
その他: 1) 夏休み中で混雑が予想されるので午前中にしました。
2) 費用: 2,000円/人(大人)(バス代、入館料)
(桂駅東口案内所でセット乗車券を購入下さい)